

徳島文化芸術ホール（仮称）管理運営計画（案）について

1 素案に対してのパブリックコメント結果

(1) 提出件数 96 件

【実施期間：令和 4 年 12 月 16 日（金）～令和 5 年 1 月 16 日（月）】

(2) 主な意見

- ・ 県民が誇りを持てるホールとなり、持続可能な取組みを期待
- ・ 公共交通機関によるアクセスにも配慮し、公演時間の設定にも工夫が必要
- ・ 文化ファン拡大に向け、計画的に時間をかけて取組みを進めるべき
- ・ 子どもたちが文化に触れる機会を作ることを期待
- ・ 有名演奏家のコンサートや本格的な舞台作品を観られることを期待
- ・ チケットを売るだけでなく、地域の活性化等にも寄与すべき
- ・ 機能的な組織体制づくりと専門性を備える人材の確保が必要
- ・ 災害時の防災機能としての役割も期待

2 パブリックコメント等を受けた主な変更点

(1) 事業の展開

- ・ 施設特性を活かした幅広い「鑑賞機会の提供」について、子どもや親子向けの音楽や演劇、舞踊、伝統芸能等の舞台芸術公演を実施
- ・ 子どもの創造性、主体性などを育むことにつながる「アウトリーチ」を実施

(2) 施設の稼働率

- ・ 安全・安心な施設運営に向け、設備等のメンテナンスや、スタッフの適正な労働環境の確保などを踏まえ、「70～80%」程度のホールの稼働率を想定

(3) 施設の管理

- ・ 事業収入拡大、外部資金確保等の経営的能力をはじめとした「専門性確保」と合わせ、中長期も見据えた「スタッフ育成」を実施
- ・ 自転車や公共交通機関など「多様なアクセス方法」による来館促進に向け、運営面での工夫を実施
- ・ 「日常の安全性確保」や「災害時」に備えた、来館者が安心して利用できる体制や施設管理を実現

徳島文化芸術ホール（仮称）管理運営計画（案）の概要

1 趣旨

「縣市協調新ホール整備基本計画」（R3.3策定）や設計を踏まえ、徳島文化芸術ホール（仮称）の管理運営における方向性を定める。

2 管理運営計画の概要

(1) 方向性

- ・ 施設や事業の魅力を誰もが享受できる機会を提供する
- ・ 文化芸術の創造発信拠点として、ノウハウ、人材等を効果的に活用する
- ・ 未来に向けた持続可能な施設運営を実現する

(2) 事業の展開

- ・ 「主催事業」は、整備基本計画で示した下記事業を軸とし、「貸館事業」とのバランスを考慮し実施

- | | |
|--------------|------------|
| ①文化創造、魅力発信事業 | ②次世代人材育成事業 |
| ③鑑賞機会提供事業 | ④にぎわい創出事業 |

- ・ 中長期的な視野を持って、継続的かつ段階的な事業展開を実施
- ・ 開館に向けた「プレ事業」や、「開館記念事業」を実施

(3) 施設の管理

- ・ 専門性の確保とともに、効率的な人員配置により、適正な組織体制を実現
- ・ 「指定管理者制度」を導入し、計画内容を確実に実施できる団体を選定
- ・ 県民意見や、類似事例を参考に、「申込方法」、「利用料金」等の方向性を決定
- ・ 「日常の安全性確保」や「災害時」に備えた体制や施設管理を実現

(4) 収支

- ・ 事業実施による効果を的確に捉えるとともに、経営的視点を持って収支を管理
- ・ 施設の利用促進による収入確保と、効率的な管理運営による経費軽減

(5) 検証・評価

- ・ 事業や施設管理による効果、成果を把握し、新ホールの未来の取組みに反映
- ・ 「自己評価」、「設置者評価」に加え、「外部検証・評価」導入も検討

(6) 今後の取組み

- ・ 「設置及び管理条例制定」や「指定管理者選定」、「開館記念事業準備」など、令和5年度以降の適切な時期に実施